

お客様の
ご紹介

社会医療法人 愛仁会 様

愛仁会は1958年の創立以来、一貫して地域の医療、介護、福祉、保健のトータルヘルスケアをめざす法人。千船病院（大阪府大阪市）、高槻病院（大阪府高槻市）などの3施設の急性期病院と、愛仁会リハビリテーション病院（大阪府高槻市）のリハビリ専門病院を中心に、グループ内の介護老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、ケアプランセンター、ヘルパーステーション、看護助産専門学校などと互いに連携をとりながら、大阪・兵庫の両府県で急性期から回復期・慢性期・療養期、さらには在宅へとスムーズに繋がる地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを精力的に進めている。

■お客さまデータ

所在地：大阪府大阪市など
従業員数：4,200名（2018年2月実績）
ホームページ：http://www.aijinkai.or.jp



導入先の1つ 社会医療法人 愛仁会 千船病院 様

導入製品

導入製品 フラットベッドスキャナー DS-1630

スキャン枚数の多い業務も
保険証などの不定形文書も1台2役の
ADFつきフラットベッドスキャナー



導入台数：138台

ADF読み取り速度
300dpi

A4カラー
A4モノクロ **25**※1
枚/分

原稿サイズ
名刺、ハガキ～長尺紙、A4

ADF付き

※1：読み取り速度はエプソン自社基準測定値（使用環境・方法により異なります）。
*仕様詳細はエプソンホームページをご確認ください。

↓製品の詳細はこちら↓
スキャナーのホームページ
epson.jp/scnj2/



事例概要

これまでは業務用途によって使い分けていた2種類のスキャナーを 1機種に統一して、効率化を実現。

- ▶ 管理工数と機器コスト削減のため、クラウド型電子カルテシステムを導入。
- ▶ 以前は、スキャン原稿の種類や頻度に合わせて、シートフィードとフラットベッドの2種類のスキャナーを使用し、非効率だった。
- ▶ 今回、機器を一新するにあたり、シンクライアント環境下で動作できることと効率化を重視して、ADF付きフラットベッドスキャナー「DS-1630」を導入。
- ▶ 院内を「DS-1630」に統一したことで、利用ごとにドライバーを切り替える手間を削減でき、スピーディーにスキャン可能。
- ▶ 「DS-1630」は限られた設置場所にも置くことができ、コンパクトさも高評価。



まとめ

ご導入ポイント

- ①コンパクトサイズでかつスピーディーにスキャンできること。
- ②ADF（オートドキュメントフィーダー）とフラットベッドの両方の性能を兼ね備えていること

ご利用メリット

- ①省スペースであるため、設置場所の自由度が広がった
- ②機種を統一したため保守が容易でコストも下がった
- ③1台で定型文書・不定形文書のどちらもスキャンできる

導入ご担当者に
聞きました

シンククライアント環境下でも安心稼働^{*}。1台で2役の 用途に対応できるスキャナーで業務効率化



愛仁会本部
医療情報部 部長代理
井内 伸一 氏

電子カルテシステムの導入に伴い、シンククライアント環境下でも稼働できる周辺機器のリプレースを検討していました

私たち愛仁会では、千船病院の新築移転にあたり、電子カルテシステムのリプレースを計画しました。この電子カルテシステムは、データセンターを利用したクラウド型電子カルテですので、管理工数を大幅に削減でき、さらにシンククライアント環境下で動作させるためセキュリティ面も安心です。また、各個人が業務で使う端末の機能を必要最小限に抑えることができます。ただし、この構成は周辺機器の動作環境にも大きく影響するので、シンククライアント環境下で動作ができる製品であることが必須条件でした。

シートフィードとフラットベッド。これまでは業務用途によって使い分けていた2種類のスキャナーを1機種に統一できました

他院からの紹介状など定型文書がメインで、且つスキャン枚数の多い部署ではシートフィードタイプのスキャナーを、保険証など不定形文書のスキャン頻度が高い部署ではフラットベッドタイプのスキャナーを、というように以前は2種類のスキャナーを導入していました。しかし、新たに更新するシンククライアント環境下では、機種が別々であることにより、利用する度にドライバーを切り替えねばならず、その作業に手間と時間がかかり、非常に非効率となることが予想されました。

そこで、1台で両機能を備えたスキャナーを探していたところ、グループ内の高槻病院で導入実績のあるエプソン製のスキャナーDS-1630が検討対象になりました。このスキャナーはフラットベッドタイプでありながら、ADF(オートドキュメントフィーダー)対応もしているため、シートフィードタイプのように高速スキャンも可能です。また、サイズやスピードなどの性能面もすでに高槻病院で評価されていたこともあり、グループ全体のスキャナーすべてをDS-1630にリプレースしました。

※:お客様環境下で動作確認したものです。



愛仁会本部
医療情報部 課長
田中 信吾 氏

ご利用の感想を
聞いてみました

グループ全体で**多様な業務**に対応した1台の機種に統一することで現場でも**患者さまを待たせません**



千船病院
診療情報管理室 副主任
森岡 大貴 氏

シンククライアント環境下での動作テストをクリアし、グループ全体で導入を決定。導入後の初期設定もドライバー・ソフトウェア1つで容易。操作性、保守サービスも満足です

シンククライアント環境下での動作検証を行い、導入を決定しました。これにより、導入後の初期設定もドライバーが1つで済むため大幅に手間を削減できました。また、同一機種をグループ全体で138台導入しているため製品保守も容易で、コスト面や操作性に關しても満足しています。

どの部署も、設置場所が広くとれるわけではないので、このコンパクトさは高評価です。保険証や診療情報提供書、枚数が多い紹介状などのスキャンもスピーディーに行うことができ、患者さまを待たせず業務の効率も上がったとの報告を受けています。特に、スキャン枚数が1日に50枚から100枚にもなる地域医療連携室では大きな戦力になっているようです。



コンパクトサイズで、狭いスペースにも設置可能。



フラットベッドご利用シーン。保険証などの不定形文書をスキャン。

エプソンの製品に関するお問い合わせ

エプソンインフォメーションセンター

050-3155-8100

受付時間 9:00~17:30 月~金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

導入事例の詳細な内容はこちら

[epson.jp/scase2/](https://www.epson.jp/scase2/)